

保護者の皆様へ

## 令和元年度学校教育自己診断アンケート結果について

高槻市立如是中学校  
校長 戸田 純子

新春の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素より、本校の取り組みにご理解・ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年11月に実施いたしました学校教育自己診断アンケートにご協力いただきありがとうございます。集約結果につきましてご報告いたします。表面に分析、裏面に生徒分・保護者分の肯定的意見のパーセント結果を掲載しております。

また過去3年間の平均値と経年比較した表も参考にご覧ください。

### <生徒>

#### 1. 学校生活について

- ほとんどの項目で9割近くの生徒が肯定的な回答をしていました。

#### 2. 自分自身について

- すべての項目で過去3年間の平均値と比較して肯定的評価の割合が上回っていました。「わたしは、家庭で学習(宿題や予習復習など)をしている。」「わたしは、ルールやマナーを守っている。」「わたしは、授業に意欲的に取り組んでいる。」は5ポイント以上上回っていました。

#### 3. 先生について

- 過去3年間の平均値と比較して、すべての項目で肯定的評価の割合が大きく上回っていました。
- 「悩み事などの話を聞いてくれる先生がいる」「先生は、私たちが困っていることに具体的に動いてくれる」「先生は、お互いに協力し合っている」については10ポイント以上上回っていました。

#### 4. 教科・授業について

- すべての項目で過去3年間の平均値と比較して肯定的評価の割合が上回っていました。
- 「授業が分かりやすい。」については、過去3年間の平均値と比較して20ポイント以上、「教える方や教材を工夫している先生が多い。」については、14ポイント、総合の時間は面白く、将来役に立つ」は、13ポイント上回っていました。

#### 5. 教科以外のことについて

- すべての項目で過去3年間の平均値と比較して肯定的評価の割合が10ポイント前後上回っていました。
- 「学校では、命の大切さ、社会のルールやマナーについて学ぶ機会がある」については過去3年間の平均値と比較して肯定的評価の割合が11ポイント上回っていました。昨年からの質問項目に加えた「学校ではいじめ防止について、考える機会がある。」については昨年の結果と比較して13ポイント上回っていました。

### <保護者>

#### 6. 学校生活全体について

- ほとんどの項目で肯定的評価の割合が過去3年間の平均値を上回っていました。

#### 7. 保護者・家庭について

- すべての項目について肯定的評価の割合が過去3年間の平均値と比較して同じであるか上回

っていました。

- 「保護者として、PTA 活動に協力、参加している。」「家庭では、いじめについて話す時間を持っている。」については過去3年間の平均値と比較して肯定的評価の割合が5ポイント上回っていました。

## 8. 先生について

- すべての項目について肯定的評価の割合が過去3年間の平均値と比較して同じであるか上回っていました。
- 「子どもの悩みごとなどの話を聞いてくれる先生がいる。」は過去3年間の平均値と比較して肯定的評価の割合が10ポイント上回っていました。「先生は、お互いに協力し合っている。」は、過去3年間の平均値と比較して肯定的評価の割合が6ポイント上回っていました。

## 9. 教科・授業について

- すべての項目で、肯定的評価の割合が過去3年間の平均値に比べ上回っていました。中でも「授業は分かりやすい」は、過去3年間の平均値に比べ16ポイント上回っていました。「教え方や教材を工夫している先生が多い」は、過去3年間の平均値に比べ12ポイント、「子どもは、総合的な学習は、将来役に立つと感じている」は、11ポイント上回っていました。

## 10. 教科以外のことについて

- すべての項目で肯定的評価の割合が過去3年間の平均値と比べ、上回っていました。

## 〈 全体を通しての分析 〉

経年比較では、大半の質問項目について肯定的評価の割合が過去3年間の平均値と比べ上回っており、取り組みの成果が表れていると考えております。

肯定的評価の割合が過去3年間の平均値と比べ下回っている項目は全体を通して2項目で1ポイント下回っているという結果でした。大きな改善をするというよりは、質問項目について丁寧に説明をおこなっていきたくと考えています。

いじめについては、〈生徒の質問項目〉「先生は、いじめなど私たちが困っていることを真剣に対応してくれる。」「学校では、いじめ防止について考える機会がある。」〈保護者の質問項目〉「家庭では、いじめについて話す時間を持っている。」「学校では、いじめ防止について考える機会がある。」を昨年度より新しい質問項目として増やしました。この質問項目では、8～9割の肯定的な回答でした。

「学習目標を提示している」「黒板(電子を含む)の表示はわかりやすい」については、本校が授業づくりの2本柱として進めている〈UD(ユニバーサルデザイン)〉と〈言語活動を充実させた授業づくり〉の取り組みを検証するために一昨年度から新しい質問項目として増やしました。どちらの項目も過去の平均値に比べ上回っていて、取り組みの成果が表れていると考えております。

「家庭で学習(宿題や予習復習など)をしている」については、他の調査結果からも「取り組めていない」という結果がでていましたが、保護者の方で1ポイント、生徒の方で7ポイント、上昇しており、家庭学習の時間が増えてきていることがわかりました。

「学校では、定期的に避難訓練や防犯訓練が実施されている」については、生徒・保護者共にポイントが上昇し、肯定的評価の割合が9割を超える結果でした。昨年度の様々な災害の状況をふまえ、「朝の授業開始時」や「昼休み」という設定での避難訓練に取り組みました。生徒には「様々な状況の下、自分の命を守ること」「人の命を守ること」を考える機会になったと思っております。

「授業が分かりやすい」「教え方や教材を工夫している先生が多い」は、生徒・保護者の両方でポイントが大きく上昇しており、学校としても今後ともに力を入れていきたいと考えております。

これからも生徒を中心に据え、学校と家庭・地域との連携をさらに強くし、生徒たちの学習面・生活面を支援していきたいと思っております。

今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。